

E A 2 1 概要説明

中小企業が待ち望んだ環境経営システム

エコアクション21の概要

詳細は <http://www.ea21.jp/>

～構築のポイント～



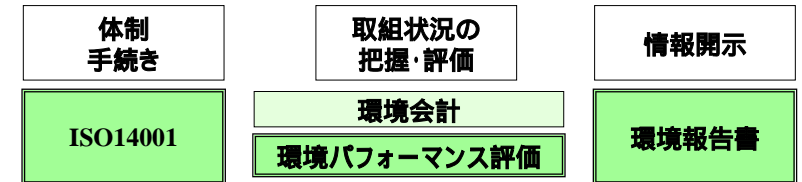
エコアクション21
地域事務局大阪1-010

<http://www.ea21-osaka.org/>

E A 2 1 地域事務局大阪
普及委員長 宇田吉明
(E A 2 1 審査人 / ISO14001 審査員)

システムの構成の比較 E A 2 1 vs ISO14001

「エコアクション21 環境経営システム・環境活動ガイドライン(2004年版)」は、環境省が策定したガイドライン



E A 2 1 は 色部分を**統合した**環境経営システム
ISO14001はマネジメントシステムのみ

実施主体の比較

E A 2 1 vs ISO14001

	E A 2 1	ISO14001
発行	環境省	国際標準化機構 (ISO)
認定機関	(財)地球環境戦略研究機関 持続性センター (IGES-CfS)	(財)日本適合性認定協会 (JAB)
認証登録機関		審査登録機関
審査受付 認証・登録の判定	E A 2 1 地域事務局	審査登録機関
審査実施	E A 2 1 審査人	EMS 審査員

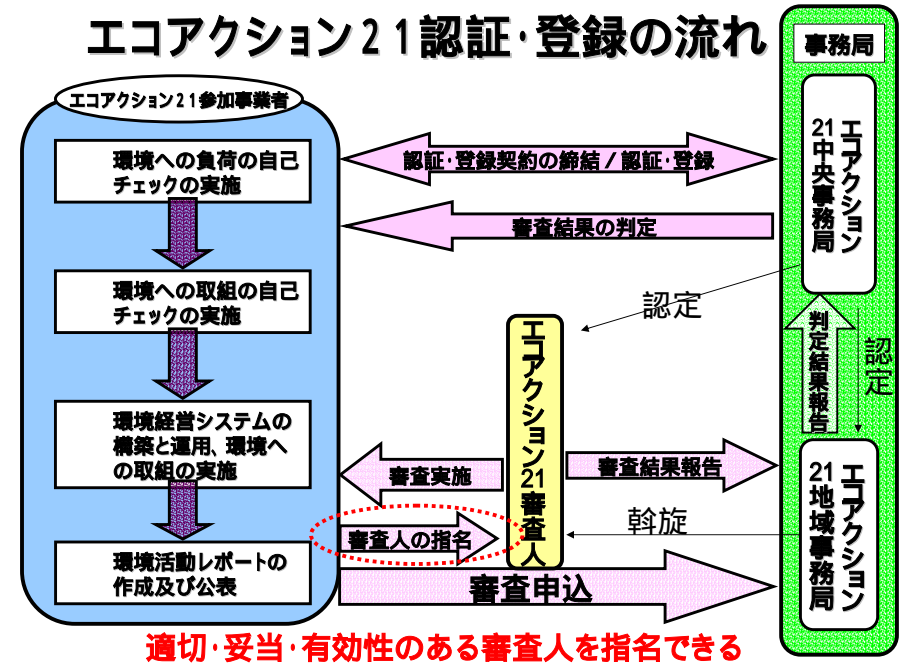
取り組み易さの比較 E A 2 1 vs ISO14001 vs その他のEMS

	ISO	E A 2 1	エコステージ	KES
認証登録件数 (2006年7月9日調査時点)	20,500 (2006年4月現在)	823	ステップ1: 230 ステップ2: 13 ステップ3: 3 ステップ4: 1 ステップ5: 0 (ステップ1がEA21に相当)	ステップ1: 430 ステップ2: 243 学校: 9 (ステップ2がEA21に相当)
コンサル費用	高	少	中	少
審査登録料	高	15万円～	34万～ (含む事前評価)	20万～ (ステップ1+2)
30～99名の 製造業の場合 構築の難易性	約120万円	30万円	54万円	25万円
構築の難易性	高	小	小～高	小
審査の方法	コンサル不可	助言あり 審査人を指名可	評価が基準	助言あり
審査までの 所要期間	10ヶ月～	6ヶ月～		6ヶ月～
特徴	国際標準	国内で通用 環境活動レポート による情報公開	段階式評価 ISO取得は レベル2に相当	京都市から地方へ

要求事項の比較 EA21 vs ISO14001

	エコアクション21		ISO14001	
P 計画	1	環境方針の作成	4.2	環境方針
	2	環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価	4.3.1	環境側面
	3	環境関連法規等の取りまとめ	4.3.2	法的及びその他の要求事項
	4	環境目標及び環境活動計画の策定	4.3.3	目的、目標及び実施計画
D 計画の実施	5	実施体制の構築	4.4.1	資源、役割、責任及び権限
	6	教育・訓練の実施	4.4.2	力量、教育訓練及び自覚
	7	環境コミュニケーション	4.4.3	コミュニケーション
	8	実施及び運用	4.4.6	運用管理
	9	環境上の緊急事態への準備及び対応	4.4.7	緊急事態への準備及び対応
C 取組状況の確認と評価	10	取組状況の確認及び問題の是正 (内部監査は推奨事項)	4.5.1	監視及び測定
	11	環境関連文書及び記録の作成・整理 (マニュアルは推奨事項)	4.5.2 4.5.3 4.5.5	順守評価 不適合並びに是正処置及び 予防処置 内部監査
A 全体の評価と見直し	12	代表者による全体の評価と見直し	4.6	マネジメントレビュー
		環境活動レポート		-

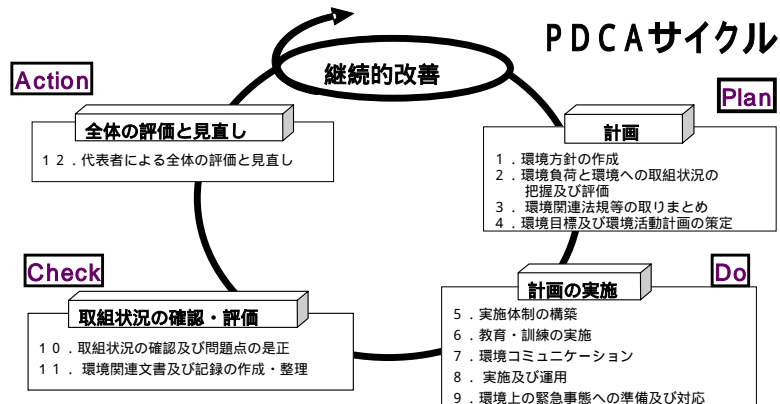
エコアクション21認証・登録の流れ



環境経営システムガイドライン

ガイドラインの構築、運用すべき環境経営システムに沿って実施

- ・12項目の要求事項(ISO14001の17項目を集約)
- ・要求事項は項目のみ内容や方法については事業者のレベルに合わせた創意工夫を



環境活動レポートガイドライン

とりまとめる事項

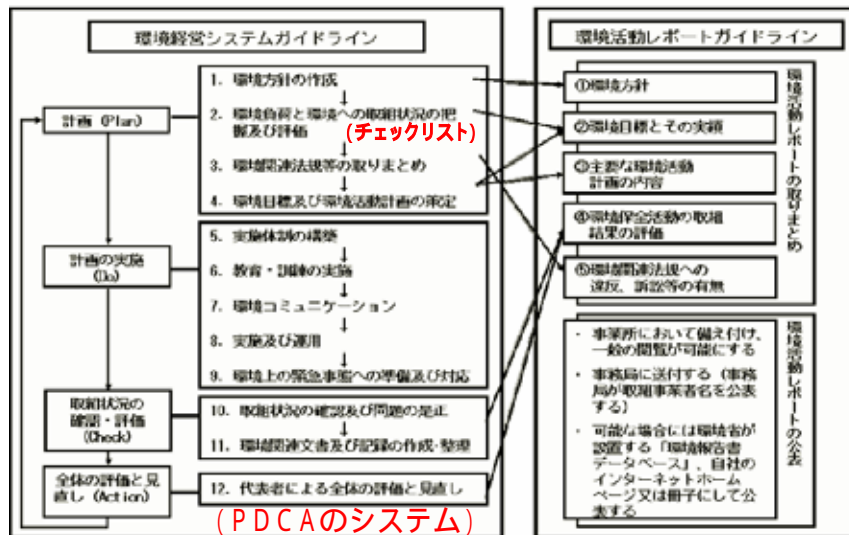
- 環境方針
- 環境目標とその実績
- 主要な環境活動計画の内容
- 環境活動の取組結果の評価
- 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

公表

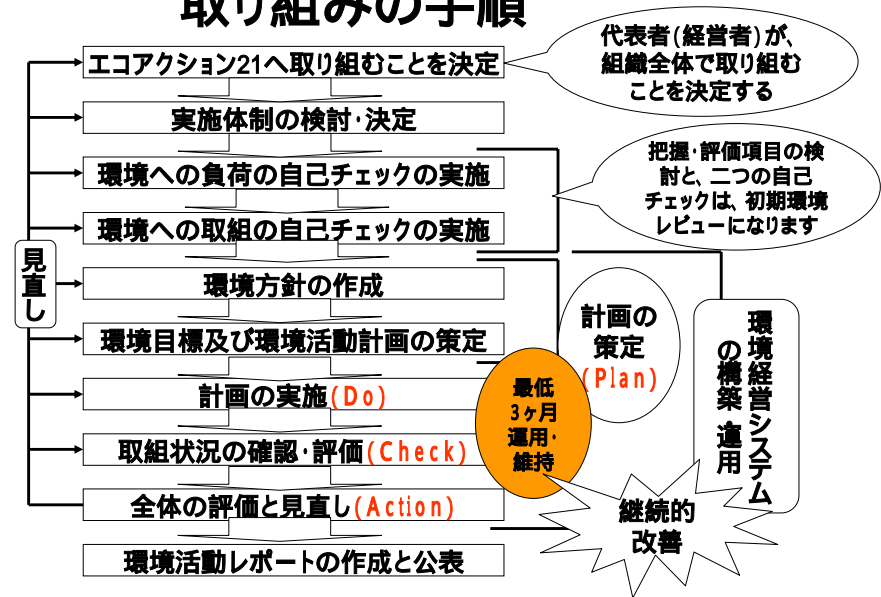
- ・外部の者も閲覧(事務局のHPでも公表)

E A 2 1 の要求事項

～ 環境経営システムと環境活動レポートガイドライン～



取り組みの手順



2.環境への負荷の自己チェック

環境への負荷の自己チェックシート(抜粋イメージ)

	単位	合計(年)			排出係数 (B)	
		消費量 (A)	排出量 (kg-CO ₂) (A×B×C)	割合		
購入電力	kWh	70,000	26,460	48	0.378 (kg-CO ₂ /kWh)	
エネルギー消費	灯油	L		0	0.0679 (kg-CO ₂ /MJ)	
	重油	L		0	0.0693 (kg-CO ₂ /MJ)	
	都市ガス	Nm ³	500	1,054	2	0.0513 (kg-CO ₂ /MJ)
	液化天然ガス(LNG)	kg		0	0.0494 (kg-CO ₂ /MJ)	
	液化石油ガス(LPG)	kg		0	0.0598 (kg-CO ₂ /MJ)	
	ガソリン	L	3,000	6,965	13	0.0671 (kg-CO ₂ /MJ)
	軽油	L	8,000	20,995		0.0687 (kg-CO ₂ /MJ)
			0			

該当する項目に消費量を入力(エクセルで自動計算)

2.環境への取組の自己チェック

選んだ項目に関する取組をチェック表を使ってチェックする

- ・項目ごとに必要と思われる取組を掲載
- ・実施している取組具合に応じてチェック

環境への取組の自己チェック(抜粋イメージ)

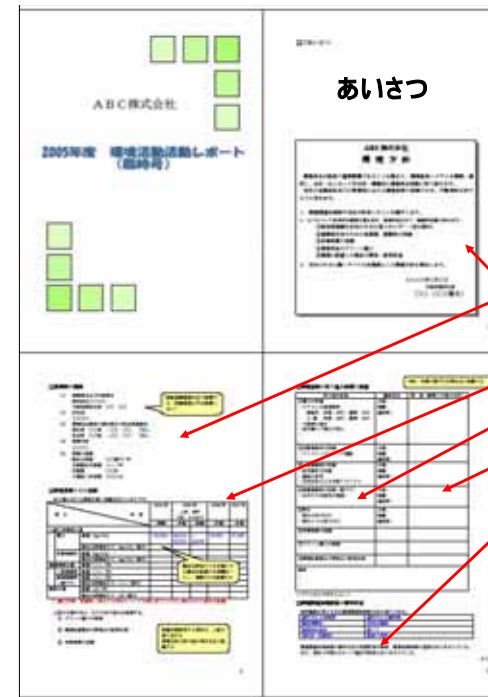
1) 日常業務の管理に当たっての配慮	A重要度	B取組状況	C評価点	重点実施
空調の適温化(冷房28度程度、暖房20度程度)を徹底している	3,2,1	2,1,0	A×B	
空調の適温化(冷房28度程度、暖房20度程度)を徹底している	3	0	0	
空調を必要な区域・時間に限定して行っている	2	0	0	
空調・冷却設備の保守点検をこまめに行っている	2	1	2	
エレベーターの適正使用を徹底している	1	1	1	
照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理を積極的に行っている	3	2	6	

取り組むべき項目のヒントが用意されている

4.環境目標及び環境活動計画

～省エネ活動の事例～

目標	具体的手段	スケジュール			責任者	達成状況		
		4月	5月	6月				
電力の削減 2004年比 3% (26,000kWh)	<空調の省エネ> ・空調温度の適正管理 暖房20 以下 冷房28 以上 ・クールビズの定着 ・空調機更新(トップランナー 製品に) ・フィルター定期清掃 <照明の省エネ> ・照明のこまめな消灯 ・不要照明の玉抜き <待機電力の省エネ> ・PCの節電モード設定	← 外気による換気 →			総務部	6月		
				フィルター清掃			スタート時目標未達なるも消灯運動定着で挽回	
						クールビズ呼びかけ		9月
			消灯キャンペーン					12月
			待機電力対策					3月(総括)
		計画	月	1800		1900	2000	
実績	累計		2700	4700				
	月	1900	1900	1900				
	累計		2800	4700				
	評価	x						



環境活動レポート ～一例～

- 事業所の概要
- 環境方針
- 環境目標とその実績
- 主要な環境活動計画の内容
- 環境活動の取組結果の評価
- 環境関連法規制と順守状況

安く認証取得する方法 ～自治体等による補助や支援制度～

大阪市: なにわエコ会議企業部会による支援
 大阪府: 構築に必要なアドバイザー派遣(5回を限度)
 八尾市: 認証取得費用の1/2(15万円を限度)
 枚方市: 認証取得費用の1/2(10万円を限度)
 豊中市: 構築に必要なアドバイザー派遣(5回を限度)
 藤沢市: 認証取得費用の1/2(100万円を限度)
 静岡県: 事前協議免除
 長野県: 認証登録年度の事業税を1/2に

各地の自治体: 「エコアクション21自治体イニシャティブプログラム」による無料で4回の集合研修

E A 2 1自治体イニシャティブプログラム へのお誘い

目的

エコアクション21認証・登録制度の実施の一環として、自治体(市区町村)のイニシャティブの下、**域内の多くの事業者が一斉にエコアクション21に取り組む**ことにより、地域全体の二酸化炭素、廃棄物などの排出削減、エネルギーコストなどの削減を実現し、併せて「環境経営」の証が得られる仕組みを「自治体イニシャティブ・プログラム」として展開

自治体が、エコアクション21認証・登録制度を、域内の事業者の二酸化炭素排出削減対策などの取組を支援するための有力な政策手段として積極的に活用することにより、エコアクション21の普及を図るもの

プログラムスケジュール(予定)

5月	4月	3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月末
認証 登録	審査	評価 (専門家指導)	実施 取組 アドバイス (専門家指導)	← 取組 (含む個別相談)		集合 環境 対策 アドバイス (含む個別相談)	集合 環境 対策 アドバイス	全体 説明 会	募集 締め 切り

第1回目(Planづくり)

エコアクション21の概要説明
ガイドラインの説明(講師による講義)

5. 組織・実施体制作り
2. 負荷の自己チェックのやり方
取組みの自己チェックのやり方
3. 法規制要求事項のまとめ方

次回までの宿題
実施体制作り、組織負荷・取組みの自己
チェック、法規制登録簿

第2回目(Planづくり)

- ・ガイドラインの説明(講師による講義)
 1. 環境方針の作り方
 4. 環境目標の設定
環境活動計画(スケジュール作り)
 11. 文書体系の整理と環境経営マニュアル
の作り方(推奨事項)
- ・第1回目の宿題確認(専門家による個別指導)
- ・次回までの宿題
環境方針、目標設定書、環境活動実施計画書

第3回目(PlanからDoへ)

- ガイドラインの説明(講師による講義)
 6. 教育計画の作り方と実施
 7. コミュニケーションの方法と記録
 8. 各種手順書の作り方
 9. 緊急事態の想定と手順書、訓練
 10. 不適合処理
 12. 代表者による見直しの方法と記録
- ・第2回目の宿題確認(専門家による個別指導)
- ・次回までの宿題
3ヶ月の運用実施、不適合処理、(マニュアル作成)、
代表者による見直し

第4回目(PDCA結果)

ガイドラインの説明(講師による講義)

環境活動レポートの書き方

登録審査の手続き説明

・第3回目の宿題確認(専門家による個別指導)

各事業者が、直接認証登録申込を
地域事務局大阪に申し込む

まとめ

～エコアクション21をお勧めする理由～

- グリーン調達に対応可能(行政・大手企業が認め始めている)
- 審査を通じて経験豊富な専門家に現場改善の助言が得られる
- 自治体イニシャティブへの参加で無料で構築のアドバイスあり
- 省資源、省エネ、歩留向上等コストダウンになる(費用対効果)
- 従業員(一番変わるのは経営者自身)の意識が変わる
- 地球温暖化対策など企業(団体)の社会的責任を果たせる

お気軽に、エコアクション21地域事務局大阪にご相談下さい
大阪市港区築港2-8-24 piaNPO 411号

TEL:06-6575-1521 FAX:06-6599-0607

E-mail; info@ea21-osaka.org 担当:北、塚本、森田